

全体図



国道2号線沿いで唯一瀬戸の絶景を一望できるポイント。
道の駅「みはら神明の里」は三原バイパス沿いにあり、敷地面積が18,800㎡で88台（普通車75台 大型11台 身障者用2台）収容できる駐車場を備えている。

トイレ棟 外観



トイレ棟は、身体障がい者用駐車区画の近くに位置する。
大きなイラストと色分けされたサインで、遠くからでも男女トイレと多機能トイレがひと目でわかるようにしている。

女性トイレ 大便器ブース



すべての大便器にウォシュレットを設置。
大便器後方には荷物棚を設けている。男女トイレとも小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアを備えたブースも用意している。

外観



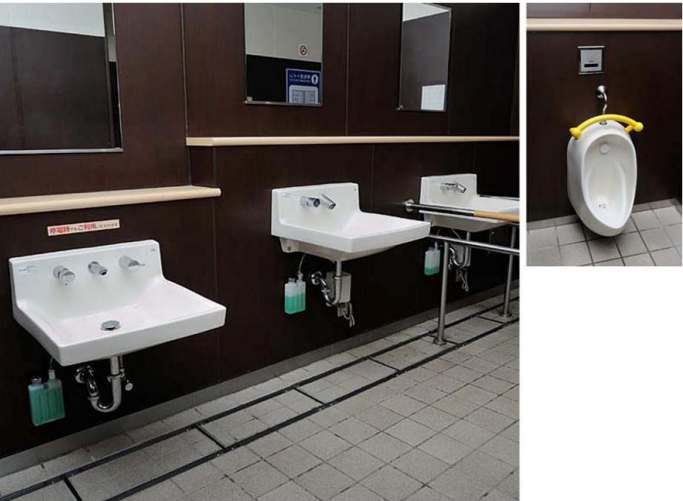
道路利用者のみならず地域の皆様のくつろぎの場にもなっている。
展望デッキからは、瀬戸内海国立公園筆影山や多島海など、豊かな眺望を楽しむことができる。左奥にトイレ棟がある。

トイレ入口



トイレ入口には、多言語（4ヶ国）で表記され、トイレ内の設備がひと目でわかるサインを表示。
多機能トイレは左右勝手違いで2ヶ所設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



小さなお子様連れに配慮して、1ヶ所の洗面器はお子様使いやすい高さに設置、さらに幼児用小便器を男女トイレに設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



小便器は、小さなお子様から大人まで使いやすく、床の清掃性や節水性に優れた低リップタイプの壁掛式自動洗浄小便器を採用。

多機能トイレ



車いす使用者に配慮し、化粧鏡を化粧棚下にも備えた。ストッキングの履き替えや子どもの着脱衣に利用できるフィッティングボードとオストメイトの着替えなどに便利な収納式多目的シートを設置。

建築概要

名 称	道の駅みはら神明の里
所 在 地	広島県三原市糸崎4丁目21番1号
施 主	三原市・国土交通省中国地方整備局
設 計	株式会社あい設計
施 工	藤井建設株式会社
竣 工 年 月	2012年3月

多機能トイレ



車いす使用者や小さなお子様連れ、オストメイトの方など、さまざまな利用者に配慮して、オストメイト対応トイレバック・ベビーチェア・収納式多目的シートを完備している。

駅舎内トイレ 多機能トイレ



足腰が弱い高齢者に配慮して大便器には、スイッチ操作で便座が昇降するトイレリフトを設置。男女のトイレサインは、「三原やっさ祭り」でやっさ踊りを踊る姿がモチーフとなっている。

水まわりの特長

<施設の概要> 道の駅「みはら神明の里」は、瀬戸内海に面する風光明媚な城下町、広島県三原市の国道2号線三原バイパス沿いにある。広島県で16番目の道の駅として2012年3月にオープン、毎月約50,000人が訪れている。地元の農林水産物を活かした「三原ブランド」創造のための販売、飲食コーナーをはじめ、道路交通情報や三原市の観光情報を発信する情報提供コーナー、さらには無料Wi-Fiや広島県内の道の駅初となる電気自動車用充電スタンドを備えている。そのほか、市民の交流スペースやくつろぎのスペースなどがあり、地域住民の憩いの場として役割も果たしている。
<トイレの特長> 「三原市交通バリアフリー基本構想」に則り、福祉関係有識者の意見も参考に、ユニバーサルデザインの思想を取り入れたトイレ空間を実現した。トイレ入口には多言語のトイレサインを掲示。トイレ内の床段差を解消。多機能トイレは車いすの十分な回転スペースを確保するとともに、さまざまな利用者に配慮した設備を完備している。さらに、男女トイレともにベビーチェアを備えた大便器ブースや幼児用小便器を設置、洗面器の1ヶ所をお子様使いやすい高さにするなど、小さなお子様連れへの配慮も充実している。